

とうきょうすくわくプログラム活動報告書 1歳児クラス

テーマ『温かい水の心地よさ』

《テーマ設定理由》

季節が変わり、寒さを感じる時期になり、夏場は気持ちいいと感じていた水の冷たさの感じ方に変化が出てきた。

温かいシャワーで足を洗うと気持ちがよさそうな姿があった。

寒さを感じる季節の中、様々な冷たさを感じ、水の温かさに触れる時間は子ども達にどんな発見があるのかを観察していきたいと思い、活動に取り入れた。

《環境設定・準備したもの》

- ・園庭遊びで「寒さ」や「冷たさ」に触れる。
- ・タライにお湯を入れ、じっくりと満足いくまで足や手で触れる。

《活動スケジュール》

1月14日(水)	寒さ・冷たさを感じる場面の観察
1月16日(金)	寒さ・冷たさを感じる場面の観察 園庭あそび後の入室前に足湯をする
1月23日(金)	冷たい水に触れる姿を観察

《振り返り・気付き》

今回の活動では思い切り水に触れていた夏場の水遊びとは違う姿が見られた。「寒さ」を感じているからこそ、じんわりと温まる水の心地よさを感じていたため、バシャバシャと掛け合うような姿はなく、じっくりとお湯に浸かっていたのだと思う。また反対に、お湯のあたたかさを感じたからこそ水道の水がとても冷たく感じていた。季節の移り変わりを「水」を通して感じる事が出来た活動となった。

《活動内容・子どもの様子》

＜活動1＞年が明けて寒さがより深まり、園庭で遊ぶ際も寒さが強い日には泣いて嫌がる姿も数名見られた。1歳児クラスにとって今年は歩行が出来るようになって、本格的に戸外に出て冬を感じるは初めての学年でもある。そこで、まずは「寒さ」や「冷たさ」を感じるのとはどんな場面なのかを観察した。



- ・風が吹いた時には寒さを感じ大人にくっついたりと触れ合うことの心地よさを感じていた。
- ・日陰だった所に日が差ししてくると、「太陽さん、あたたかいね」と喜んでる姿も見られた。



- ・鉄棒や滑り台など園庭の遊具やコンクリートの壁に触れたときに「冷たいね」と感じ、大人が冷たくなった手で頬に触れると自分の手が冷たくなっているのも感じていた。

＜活動2＞この日も寒さが増し、園庭では寒さに負けないように大人と一緒に追いかっこをしたり、風の冷たさを感じている姿があり、足湯を設定する。夏の水遊びとは違い、勢いよく水に触れる様子はなく、あたたかさをじっくりと感じている様子が見られ、「きもちいいね」と気持ちを言葉にする子もいた。



- ＜活動3＞足湯を経験した後日、水道の水にじっくりと触れている子を観察した。寒さが続いたのもあり、入室前の手洗いはお湯で行っているのもあり、水道から出る水がとても冷たいことが少し不思議なような、確かめるように触れていた。

